第48期
コース No. 1

徹底した自社分析で獲得する体系的経営力

経営後継者研修

卒業生900名超の全国に広がる経営者ネットワーク

全10か月間：全日制《後継者育成専門コース》

2027年10月4日(月)開講









気持ちが変わった それが一番大きかった 本気で経営者になろうと思う

Be a Great Small.
中小機構

中小企業の価値を、
日本の原動力に。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
中小企業大学校 東京校

創業者の「志」を受け継ぐ
自社の未来を変えるのはあなたです


11月 業務プロセス分析実習


2月 在校生・卒業生合同研修会


5月 派遣元企業合同研修会



5月 卒業生・メンター相談会


6月 経営総合実習


7月 ゼミナール論文発表会

集え、
次代の経営者

卒業生の声

唯一無二の仲間と創り上げた後継の覚悟

株式会社ファインテック　**本木 正敏**



10か月間の研修を振り返ったとき、私にとって最も大きな収穫は、「会社の経営を承継する責任を引き受ける覚悟」が固まったことです。この覚悟を固めることができた背景には、この研修で出会えた16名のかけがえのない仲間の存在がありました。

研修前まで、私は「会社を継ぐ」と自分の口で明言したことは一度もありませんでした。しかし、自社分析やゼミナール論文の作成、講師や仲間との対話を重ねる中で、「会社は何のために存在するのか」「経営者として何を実現したいのか」を何度も考え、自分自身と真剣に向き合うことができました。経営を知識や手法として学ぶだけでなく、自社の本質や経営者としての使命を深く考える機会を得られたことが、この研修で最も心に残った学びです。また、悩みや迷いを本音で語り合い、互いに励まし、高め合えた16名の仲間との出会いは、何ものにも代え難い財産であり、これからも支え合える生涯の仲間です。

さらに私は、「人の可能性を信じ、成長を支え、新たな価値を生み出し続ける組織」という、自分自身が目指す経営の軸を見出すこともできました。

研修は修了しましたが、本当の学びはここから始まり、そして、私は学び続けます。この10か月で得た学びと生涯の仲間との絆を力に変え、学びを実践へとつなげながら、会社の未来づくりに挑戦し続けていきます。

〒832-0081 福岡県柳川市西浜武575番地1　TEL 0944-73-0877　FAX 0944-74-1645　URL https://www.f-finetec.co.jp/

将来について話してみようと初めて思った
うちの会社はこれから面白くなりそうだ







講師講評

終講式

The Learning of Business Successors
経営後継者研修

経営者の声

会社の使命を次の世代へ

株式会社ファインテック 代表取締役社長　**本木 敏彦**



既に本部長という役職をもつ息子を10か月という長期間にわたり大学校に送り出すことには正直なところ迷いもありました。日々の経営を考えれば、不在による影響は決して小さくありません。しかし、自社の未来を考えたとき、目先の損失よりも、次代を担う経営者としての成長こそが何より重要だと決断しました。研修を終えて帰ってきた息子から、経営の知識だけでなく、「経営者として会社の未来を背負う覚悟と決意」を感じ取ることができました。これが私にとって何より大きな成果でした。

経営は知識だけでは務まりません。しかし、志ある仲間と学び、自社と真剣に向き合い続けた10か月は、本人にとってかけがえのない財産になったと思います。私にとって後継者を育てることは、会社の未来を育てることです。会社の使命を次の世代へ繋ぐことです。その為にも、この研修はかけがえのない時間になったと確信しています。ここまで育てて頂いたゼミの先生や事務局の方々に心より感謝申し上げます。

株式会社ファインテック　（製造業）精密刃物製造

歴代経営者の価値ある経営を さらに成長・永続させる!

自社の未来を描き、その実現に向け社員を巻き込み 自ら率先垂範する次代の『経営者』を目指す!

育成目標とする経営後継者像

- 自社の価値ある経営に気づき、熱意を持って行動する経営後継者
- グローバルな視野とローカルの視点で、自社と自身の将来を示せる経営後継者
- 財務に明るく、多角的な視点で正確な現状把握ができる経営後継者
- 現状分析をもとに早く的確な判断ができる経営後継者
- 自社と地域社会の中で、リーダーシップを発揮する経営後継者



卒業生（ゼミナール論文発表会）

経営後継者研修の 5つの 特長

1 10か月間全日制で 経営意欲に火がつく!

自社を離れる10か月間の月日が、自社での担当業務だけでは得られない、経営者としての視点や全体最適の感覚を研ぎ澄ます。また徹底的な自社分析で歴代経営者の価値ある経営を真に理解することで、自然と経営意欲に火がつき、自ら未来を創る一歩を踏み出します。

2 段階的な学習手法で、実践的な能力を養う!

企業経営の知識・スキルについて、「わかる」→「できる」→「やってみる」と基本的な内容から段階的に学びます。学んだ内容は必ず自社に当てはめて考えますので、単なる知識では終わらない、経営の現場で使える実践的な能力が習得できます。

3 考える力と コミュニケーション力を磨く!

仲間との白熱したディスカッションや経営の現場に赴き実践する企業実習により、短期間では養えない、論理的に考える力と相手に伝えるコミュニケーション力が飛躍的に向上します。

4 徹底した自社分析と ゼミナールによるサポートで 自社と自身の未来を描く!

研修成果物となるゼミナール論文作成では、経験豊富で何でも相談できる専門家がきめ細かに個別サポートしますので、自社と自身の未来を明確に描けます。また描いた未来像を環境変化に合わせ変更、修正をしていく柔軟な思考が身につきます。

5 全国に、業界を超えた 生涯にわたる 仲間ができる!

長期間、共に学ぶことで何でも腹を割って語ることのできる、業種・業界を越えた仲間ができます。各方面で経営者・経営幹部として活躍する900名の卒業生とのネットワークは、卒業後もお互いに刺激し合い、切磋琢磨できる生涯の学びあう人脈となります。もちろん将来のビジネスパートナーとしての可能性も広がります。

徹底した自社分析と実践的なカリキュラムで経営スキルに磨きをかける

研修の進め方・学習手法と主な科目

実践的で確かな能力を養う段階的な学習手法

わかる!
知識・スキルの理解

■ 基礎講義
- 基本科目
- 企業家招聘
- 現地視察
- 補講


▲基礎講義の様子

できる!
知識・スキルの体得
応用力の育成

■ 応用演習（ケーススタディ）
- ビジネスシミュレーション
- 財務計画策定
- 経営戦略・計画策定
- 新規事業プラン策定


▲ビジネスシミュレーションの様子

やってみる!
実行力
遂行能力形成

■ 自社分析・計画策定
- 沿革・経営理念
- 業界・業務プロセス
- 決算書・財務
- 人的資源管理
- リスクマネジメント
- 経営戦略・マーケティング
- 利益・資金計画
- 第二創業プラン

■ 企業実地研修
- 業務プロセス分析実習
- 経営総合実習

ゼミナール
（個別指導対応）
- ◆自社分析フォローアップ
- ◆専門分野研究
- ◆論文作成指導

ゼミナール論文作成
（自社と自身の将来構想とアクションプラン）

経営者としての能力開発

経営者マインド
経営後継者の心構え
事業承継の実際（卒業生による講演）

ビジネススキル
ロジカルシンキング／コミュニケーション
リーダーシップ／ファシリテーション
プレゼンテーション

■イベント
派遣元企業合同研修会
在校生・卒業生合同研修会
卒業生・メンター相談会


▲派遣元企業合同研修会（5月）

経営に必要な知識・スキルの習得

企業経営
ビジネスシミュレーション
経営戦略・経営計画の策定
新事業展開／第二創業

財務・会計
簿記／決算書の見方／財務分析
キャッシュフロー計算書
企業経営に必要な税知識
利益計画・資金計画

マーケティング
マーケティング理論
マーケティング戦略の策定

人事・組織
人事制度／人材マネジメント
モチベーション／労務管理
エンゲージメント

法務・リスク管理
企業法務／知財／コンプライアンス
リスクマネジメント／BCP

経営共通
IT／DX／グローバル対応／地域貢献

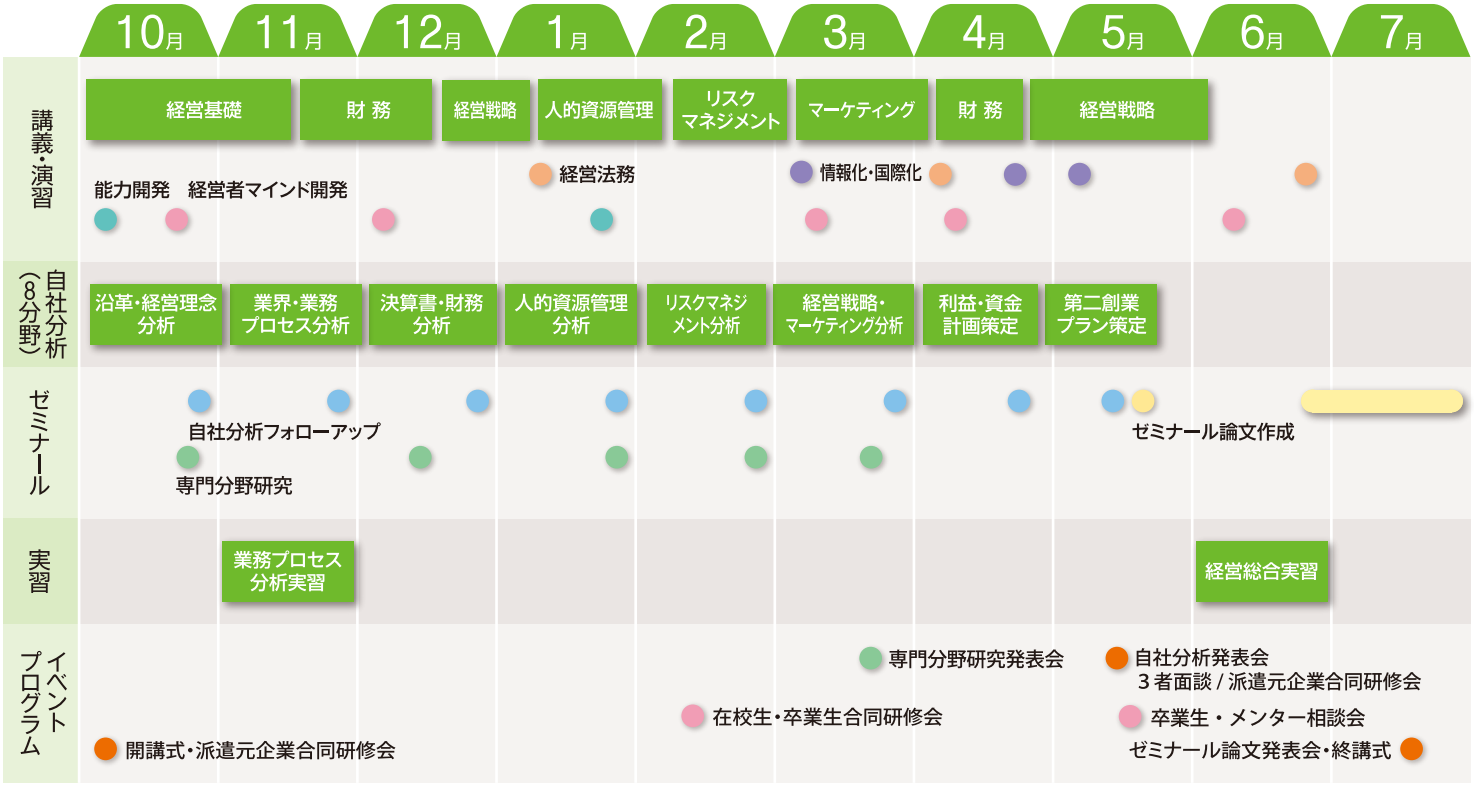

▲ゼミナール


▲自社分析発表会（5月）

次代の経営者を目指す経営後継者に必要な基本的能力や知識を実践的に習得できるカリキュラムをご用意しております。各方面で経営者・経営幹部として活躍する900名を上回る卒業生を輩出し、45年以上の歴史と実績に裏打ちされた「経営後継者研修」をぜひご活用ください。

10か月間のスケジュール

理想が明確なビジョンに変わって行く10か月間



よくあるご質問と回答

Q　社会経験、自社経験は必要ですか？

A　社会経験は最低１年以上あることが望ましいです。自社経験は問いません。

自社経験が1年未満で受講されるケースは年々増加しています。その場合、自社分析では自社資料を収集したり、従業員へヒアリングする必要があるため、事前に社内での研修派遣の周知を図られることをお勧めします。ただし、自社経営そのものが分析の根幹となりますので、自社経験を有した方がより効果的な研修となります。「自社ビジネスをある程度理解していた方が効果的な自社分析が行える」との意見は卒業生からも聞かれます。

Q　経営に関する知識がなくても大丈夫ですか？

A　大丈夫です。

過去の研修生のほとんどは、経営に関する専門的知識やスキルを習得前の状態です。当研修では、基礎的な知識から応用まで段階的に、じっくりと、繰り返し学べますので、経営に関する実践的知識を着実に習得できます。ただ、受講前にカリキュラムをご覧になり、興味のある分野の参考書等に目を通していただくと、より一層理解がスムーズです。

Q　受講料の他に掛かる費用にはどんなものがありますか？

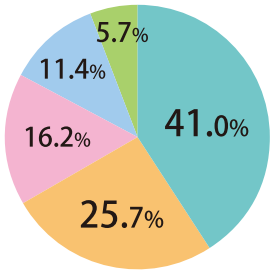
A　現地視察等の旅費及び宿泊費などがあります。

視察先所在地により異なりますが、過去の費用実績は、15万円程度でした。（企業実習2回、現地講義2回、在校生・卒業生合同研修会の交通費、宿泊費など。食費等を除く。）他に、自社分析の資料収集、ヒアリング実施時の帰社交通費が別途かかります。入寮される方は寮費が必要となります。

研修生の内訳（直近5期105名）

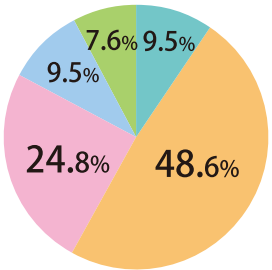
自社経験年数

平均2.7年

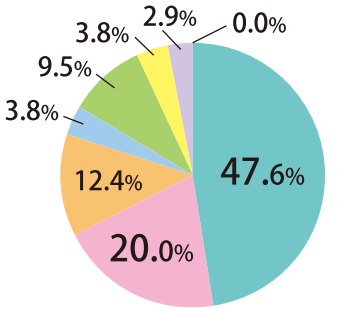


受講開始時の年齢

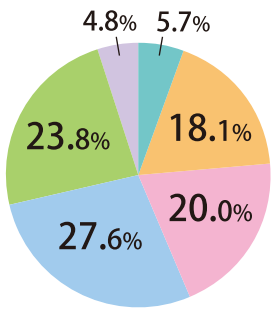
平均30.1歳



業種（派遣元企業）



派遣元企業の従業員数



第48期　経営後継者研修　募集要項

●対象者

下記(1)～(2)のすべてを満たす方

(1)中小企業の経営後継者候補又は経営幹部候補の方

(2)心身ともに健康な方で開講までに自社に入社していること

中小企業とは、資本金又は従業員のいずれかが、下表の範囲内である企業です。

業種	資本金	従業員数
製造業、運輸業、建設業、ソフトウェア業、情報処理サービス業、その他の業種	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下
旅館業	5千万円以下	200人以下

●研修期間・研修時間

2027年10月4日(月)～2028年7月28日(金)

※原則土日祝日・年末年始等を除く毎日研修が実施されます。

※原則午前9時40分～午後4時40分(昼食休憩1時間含む)

●定員　20名

●受講料　1,475,000円(教材費含む・税込)

※受講料は変更になる場合があります。

●実習に伴う経費負担について

現地講義や実習など企業訪問に伴う交通費及び宿泊費等については、受講料には含まれません。個別にご負担いただきますのでご了承ください。なお、費用等詳細については、開講後に決定次第、随時お知らせいたします。

●ノートパソコンの持参について

各種演習やレポート作成のため、受講にあたってはノートパソコンをご持参いただくことになりますのでご準備ください。

講義・施設見学のご案内

校内で講義が行われている日には、研修や施設をご見学いただくことができます。

受講を希望される方、検討されている方は、ぜひ実際の講義現場をご覧いただき、その雰囲気を体感してください。

●開　催　日／講義開催日(平日月曜～金曜)

●開催場所／中小企業大学校　東京校　TEL:042-565-1207

Eメール: to-kenshu@smrj.go.jp

●開催時間／午前の部10:00～12:00　午後の部14:00～16:00

※電話 Eメール等にて事前にご予約下さい

お問い合わせ先

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 関東本部

中小企業大学校 東京校 企業研修課

〒207-8515　東京都東大和市桜が丘2-137-5

TEL:042-565-1207　FAX:042-590-2685

URL:www.smrj.go.jp/institute/tokyo/

Eメール : to-kenshu@smrj.go.jp

経営後継者研修の詳細はこちらから

申込締切日及び選考審査

申込締切日		選考審査日(予定)
第1次	2027年3月31日(水)	2027年5月中旬以降
第2次	2027年4月30日(金)	2027年6月中旬以降

※応募多数の場合、第1次申込締切日をもって受け付けを終了することがあります。お早めにご応募ください。また、第2次申込締切日以降に、空きがある場合は、申込みを受け付けます。お問い合わせください。

●申込方法

(1)受講申込書

(本パンフレット内の申込書に必要事項をご記入ください)

東京校ホームページからもダウンロードできます。

www.smrj.go.jp/institute/training/sme/succession/application/

(2)本研修の志望理由書(800字程度、様式不問)

上記(1)に(2)を添えて、当校あてに郵送してください。

●選考審査方法

(1)受講申込書及び志望理由書等による書面審査

(2)受講申込者及び派遣元企業代表者との面接審査

●受入決定

選考審査の結果、受講可能な方については、当校から「受講決定通知書兼受講料請求書」を送付いたします。また、受講料につきましては、「受講決定通知書兼受講料請求書」記載の口座へ指定期日までにお振込みください。

※振り込み手数料は貴社のご負担になります。

※納入後の受講料は、受講を辞退される場合でも、その全部又は一部を申し受けます。

入寮を希望される方へ

●場所

東大和寮(校舎併設)

〒207-0022　東大和市桜が丘2-137-5

※研修期間中、年末年始を除きご宿泊いただけます。

●寮費

3,600円/泊(税込)

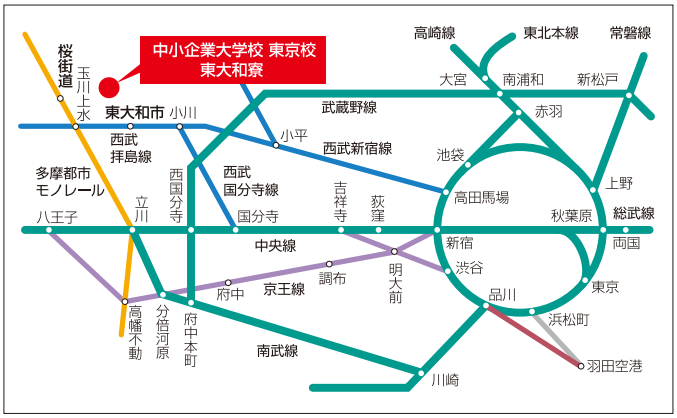
※宿泊の方は翌日朝食がついております。(食堂営業日のみ)

※寮費は変更になる場合があります。

●食事

校内食堂利用の場合、昼食・夕食の合計で1,200円程度

●アクセス



西武拝島線「東大和市駅」徒歩10分

多摩都市モノレール「桜街道駅※」徒歩15分

※タクシーでお越しの際は、玉川上水駅をご利用ください。

第48期 経営後継者研修 受講申込書

コース No.1

中小企業大学校 東京校長 あて　　年　　月　　日現在

フリガナ		代表者役職		代表者の年齢	
会社名	創業年:西暦　　年／法人設立:西暦　　年	フリガナ 代表者氏名			
所在地	〒　　都道府県				
TEL		FAX			
業 種	E.製造業 I-1.卸売業 I-2.小売業 R.サービス業 D.建設業 G.情報通信業 H.運輸業 M.旅館業 Z.その他 具体的に(　　)	業種分類 (製造業のみ○印をおつけください)	9.食品 10.飲料 11.繊維 11.衣料 12.木材 13.家具 14.紙 15.印刷 16.化学 17.石油 18.プラスチック 19.ゴム 20.皮革製品 21.窯業 22.鉄鋼 23.非鉄金属 24.金属製品 25.はん用機械 27.業務用機械 28.電子部品 29.電気機械 30 情報通信機械 31 輸送用機械 32.その他製造業			
主要取扱品目		資本金	万円	従業員数	人 (うちパート　　人)
研修情報の入手先	1.DM(研修ガイド) 2.DM(パンフレット等) 3.ホームページ 4.Web広告・SNS 5.メルマガ 6.受講者 7.商工団体等 8.金融機関 9.税理士等専門家 10.新聞・雑誌等 11.訪問・電話 12.セミナー・イベント 13.その他(　　)				
フリガナ 事務連絡担当者		部署: 役職:		担当者E-mail: 担当者電話番号:	

反社会的勢力でないことの確約について
当社(当機関)は、暴力団等の反社会的な勢力に該当せず、今後においても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを確約します。また、反社会的勢力に該当し、もしくは暴力的な要求行為等に該当する行為をしたことが判明した場合には研修の受講を中止されても異議申し立てを行いません。

受講者履歴書 (現在、上記申込企業(自社)とは別の会社で勤務している場合でも、下記欄は申込企業における所属部署及び勤続年数等をご記入ください。)

フリガナ		生年月日(西暦)		年齢	性別
氏名		年　月　日		歳	
所属部署		役職 (役職を記載の上、該当区分に○)		自社経験年数	年
担当業務の内容		代表者 役員 管理者 管理者候補等		他社経験年数	年
所属部署所在地	〒　都道府県				
	TEL: FAX:	受講者E-mail: (パソコンメールのみ)			
自宅住所	〒		TEL: 携帯電話番号:		
最終学歴	西暦　年　月　(大学院・大学・高校)　学部　学科(卒業・中退)				

※受講者E-mailは、受講決定後、事前課題のご連絡に使用いたしますので、パソコンのアドレスをご記入ください。

写真貼付

縦4.0cm
横3.0cm

写真の裏面に氏名をご記入ください。

年(西暦)	月	職歴(自社および他社)
所有資格		

※本受講申込書に写真を貼付して、志望理由書を添えて当校あてに郵送してください。

入寮希望(該当箇所の○印をおつけください。)				
希望する※	○	希望しない	○	※入寮予定日については、受講決定後に確認します。

東京校メルマガ発行時の送信可否	可 ・ 不可

個人情報の保護について	個人情報保護法に定義されます個人情報に該当する情報については、当機構内で実施する事業で使用させて頂きます。当該個人情報の第三者(業務委託先を除く)への提供または開示はいたしません。ただし、お客様の同意がある場合および、法令に基づき要請された場合については、当該個人情報を提供できるものといたします。
他受講申込企業への企業名開示について	当研修では、カリキュラムに自社分析を取り入れており、企業の機密情報を扱います。そのため、受講企業間での競合関係・取引関係の有無等について、事前に確認させていただく必要があり、申込企業に対して申込企業名を開示いたします。予め、ご了承ください。

大学校使用欄
